

松嶋夜話 卷之下 31

〔原文〕如人天寶鑑叢林公論山房夜話山菴雜錄禪門寶訓竹窓隨筆等雲棲之諸編近代永覺大師統竊言等

〔訓読〕人天寶鑑、叢林公論、山房夜話、山菴雜錄、禪門寶訓、竹窓隨筆等の雲棲の諸編、近代の永覺大師の統竊言等の如き

※天人寶鑑…書名、宋の曇秀編

※叢林公論…書名、宋の釈慧彬撰

※山庵雜錄…書名、明、怒中無愠（1309-86）の編

※禪門寶訓…大慧宗杲と竹庵士珪が編集したものを、東呉の沙門淨善が增補改修し、淳熙年間（1174-89）に完成した。

※竹窗隨筆…（明釋）株宏著

※雲棲…人里離れた、雲の生ずるような所に住むこと。隠棲。また、そのような所に泊まること。

※永覺大師…元賢、明・万曆六年（一五七八）―清・順治一四年（一六五七）。中国福建省建陽の人。宋代の有名な儒学者蔡元定の一四代の孫で、蔡氏、字は永覺。『永覺元賢広録』

三〇巻統竊言

〔原文〕亦有近世大梅國師緇門寶藏集佛國國師山堂清話近日所刊玄光數篇之書泊進徳録等

〔訓読〕亦た近世の大梅國師の緇門寶藏集、佛國國師の山堂清話、近日刊する所の玄光の數篇の書、泊び進徳録等有り

※緇門寶藏集…江戸時代初期に活躍した日本の禅僧・一絲（いつし、1608～1646）によって撰述された禅宗の指南書

※一系文守（慶長13年（1608年）―正保3年3月19日（1646年5月4日））は、江戸時代の臨済宗の僧。岩倉具堯の三男、母は園基継の娘。後水尾天皇に近侍した。諡は仏頂国師。道号は一絲とも表記する。

山号 大梅山、寺号 法常寺、開創 寛永18年（1641）開山 一絲文守（仏頂国師）

※佛國國師…高峰顕日（こうほう けんいち、仁治2年（1241年）―正和5年10月20日（1316年11月5日））？鎌倉時代後期の臨済宗の僧。後嵯峨天皇の第二皇子。諱は顕日。字は高峰。密道と号した。諡号は仏国禅師・仏国応供広済国師。

〔原文〕與共善誠時弊研遠之幾自尊之卑

〔訓読〕與共（とも）に善く時弊を戒め、遠きか幾（ちか）きを研ぎ、尊きか卑しきに自る

〔原文〕盡單上達之理

〔訓読〕盡く上達の理を單す

※「單」の訓読がよくわかりません

〔原文〕新發意學者不放手

〔訓読〕新發意の學者は手を放たず

〔原文〕日夕閱之

〔訓読〕日夕之を閱す

〔原文〕平夷心跡則一生涯之大幸不邁之

〔訓読〕心跡を平夷するときは、則ち一生涯の大幸之に邁(す)きず

〔原文〕苟所謂道裨世道淑人心者也

〔訓読〕苟に世道を裨(たす)け、人心を淑(よし)とすと道(ふ)者なり